

各 位

2020年3月23日

株式会社イオンファンタジー

代表取締役社長 藤原 信幸

(コード番号 4343 東証第一部)

常務取締役 グローバル管理統括兼

リスクマネジメント担当 新田 悟

(電話 043-212-6203)

当社の親会社 イオン株式会社

代表執行役社長 吉田 昭夫

(コード番号 8267 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年2月期の連結業績予想につきまして、2019年4月10日付当社「2019年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 2020年2月期の連結業績予想の修正 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)
前回発表予想(A)	78,000	5,400	4,750	2,150	109円03銭
今回修正予想(B)	73,490	3,200	2,350	△350	△17円73銭
増減額(B-A)	△4,510	△2,200	△2,400	△2,500	
増減率(%)	△5.8	△40.7	△50.5	—	
(ご参考)前年同期実績 (2019年2月期)	74,243	4,651	4,299	1,865	94円58銭

2. 修正の理由

2020年2月期は、新型コロナウイルス感染症による影響が1月下旬より拡大し、イオンファンタジー中国は中国当局からの通達や子どもへの感染拡大の配慮から1月28日より直営全店舗(216店舗)の営業を一時的に休止いたしました。この休業期間は中国事業の下半期最大商戦である春節期間と重なり売上高及び利益に大きく影響を及ぼしました。

また新型コロナウイルス感染症の影響はアセアン・国内にも広がりアセアン各国におきましても感染への懸念からインドアプレイグラウンド(キッズーナ)を中心に来店客数が1月下旬より減少し、また国内におきましても2月に入り時間制遊具部門を中心に売上は減少しております。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が各々前回予想を下回る見込みとなりました。

※上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上